

言語文化特殊講義 4 (英語)

履修年度	2024
担当教員	A. R. ウルック
連番	
曜日・時限・開講期	火曜日 3時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
分野系列	言語文化特殊講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山
科目ナンバリング	150FOLS0012E
科目とDPの関連	DP1-1★1/DP1-3★2
備考	
最終更新日	2023/12/6 17:43

授業の概要	Japanese Studies Through English. This course uses English as a medium to explore the subject of contemporary Japanese society. Focusing on the following areas: Society, Art, Culture, and People.	
授業の到達目標	After completing this course it is hoped that students will have developed in three key areas: 1) Language (to have improved their grasp, comprehension, and use of English), 2) Cognition - that they will be able to think wider, deeper, and more critically. To be able to evaluate data and information, and reach their own conclusions, and 3) Scholastically - that they will be adept at independent research, brainstorming, and organisation; that they will be able to produce academic documents according to global standards and protocols.	
DP一覧表		
授業の方式	対面方式	
授業の方法①	Homework entails preparatory work and research, all of which forms the bulk of this class. During class students will engage in exchanging and sharing thier ideas (and research) on the class' topic for that week. Small group work discussions which facilitate peer and co-constructed learning are the primary pedagocial methods employed in this class.	
授業の方法②	<b>特徴</b>	<b>該当有無</b>
	A : 企業や自治体と連携した課題解決型学習 (PBL)	
	B : 討議 (ディスカッション、ディベート等)	有
	C : グループワーク	有
	D : プレゼンテーション	
	E : 実習、フィールドワーク	
	F : 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等)	
	G : 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	
	H : 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う (反転授業)	
	I : 外国語のみで行われる授業	有
	J : インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業	
	K : 統一試験結果に基づくクラス編成による授業	
L : 少人数クラス編成による授業		
M : 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業		

	第1回	<b>授業内容</b>	<b>担当教員</b>
		Topic One: 'Foreign loan words' (外来語) [Language, culture, and society]	ウルック・アンドリュース
		<b>準備学修 (予習・復習等)</b>	<b>必要な時間</b>
	Portfolio submission	4時間	
第2回	<b>授業内容</b>	<b>担当教員</b>	
	Topic One: 'Foreign loan words' (外来語) [Langauge, Culture, and Society]	ウルック・アンドリュース	
	<b>準備学修 (予習・復習等)</b>	<b>必要な時間</b>	

授業 計画		Portfolio submission	4時間
	第3回	授業内容	担当教員
		Topic Two: Dark Japan [Society]	ウルック・アンドリュース
		準備学修 (予習・復習等)	必要な時間
		Portfolio submission	4時間
	第4回	授業内容	担当教員
		Topic Two: Dark Japan [Society]	ウルック・アンドリュース
		準備学修 (予習・復習等)	必要な時間
		Portfolio submission	4時間
	第5回	授業内容	担当教員
		Topic Three: Light Japan [Society]	ウルック・アンドリュース
		準備学修 (予習・復習等)	必要な時間
		Portfolio submission	4時間
	第6回	授業内容	担当教員
		Topic Three: Light Japan [Society]	ウルック・アンドリュース
準備学修 (予習・復習等)		必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第7回	授業内容	担当教員	
	Topic Four: Japan from the outside [Society and Culture]	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第8回	授業内容	担当教員	
	Topic Four: Japan from the outside [Society and Culture]	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第9回	授業内容	担当教員	
	Topic Five: 柳宗理 [People]	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第10回	授業内容	担当教員	
	Topic Five: 柳宗理 [People]	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第11回	授業内容	担当教員	
	Topic Six: Right-wing nationalism (右翼団体)	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第12回	授業内容	担当教員	
	Topic Six: Right-wing nationalism (右翼団体)	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第13回	授業内容	担当教員	
	Topic Seven: Crime [Society]	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第14回	授業内容	担当教員	
	Topic Seven: Crime [Society]	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	
第15回	授業内容	担当教員	
	Topic Eight: 和 [Society, Art, and Culture]	ウルック・アンドリュース	
	準備学修 (予習・復習等)	必要な時間	
	Portfolio submission	4時間	

フィードバックの方法	フィードバックは基本的に提出された課題について、不出来な学生に対して行います。きちんと内容を理解している学生についてはそのまま学習を続けていただければOKです。
教科書	各回レジュメを配布いたします。

参考文献など		統計学入門 第2版 (森棟公夫著) 新世社	
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	なし
	実技評価	0	なし
	レポート評価	100	授業中に毎回出題するレポート15回分の総合計で成績を評価します。ただし、1回のレポートが100%の15分の1に必ずなるわけではなく、課題の難易度で割合は変わります。
	平常点評価	0	なし
その他	0	なし	
履修上の注意		コンピュータ教室にてPCを利用して講義を行いますので、大学のPCにログインできEXCELを起動できることが、最低限授業を受講する際のスキルとして必要となります。	
連絡先・連絡方法など		授業終了後に気軽に声を掛けてください。メールによる連絡もOKです。(tmura@ic.daito.ac.jp)	
実務経験①		あり	
実務経験②		担当者は実務経験としてコンピュータに関わる業務、統計に関わる業務を担当していた。	
その他		応募者多数の場合はコンピュータ教室の定員に限りがあるため抽選を行う可能性があります。抽選時には学生証が必要になります。初回授業に出席していない学生の履修は受け付けられません。	